

2010年度

科目名	図書館概論		
担当教員	前川 和子		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	54670
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	図書館とはなにか。図書館を多面的にとらえ、私たちの生活に無くてはならない図書館の理解を深める。		
目的と概要	学生にとり図書館は、レポート、論文作成、教養や知的好奇心を満たす、無くてはならない場所である。また市民にとっても公立図書館は、様々な情報要求にこたえる場所として必要不可欠な存在である。このような図書館についての館種、関連法規、図書館政策などは、図書館司書課程の基礎として、あるいは学生の教養として知っておかねばならない。図書館を取り巻く現在の問題についても解説する。		
成績評価法	各回的小レポート50%、期末試験50%を、あわせて評価する。		
テキスト	図書館概論 四訂版(JLA図書館情報学テキストシリーズ;1)/塩見昇/日本図書館協会		
参考書	図書館学概論(新図書館学シリーズ;1)/前島重方ほか/樹村房		
履修に当たっての注意・助言	身近に存在しているが、図書館は守り育てるべき機関であることを、認識できるようになっていただきたい。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館の意義：私たちにとって図書館とは何か</li> <li>2. 図書館の法的基盤：図書館の種類ごとに法的基盤は異なる。図書館法、図書館関係法規</li> <li>3. 図書館政策</li> <li>4. 図書館の種類を知る (1) 国立国会図書館：日本の国立図書館は1館</li> <li>5. 図書館の種類を知る (2) 公立図書館1：公共図書館と呼ばれている。その意味は。</li> <li>6. 図書館の種類を知る (3) 公立図書館2：市民の情報の窓口</li> <li>7. 図書館の種類を知る (4) 学校図書館：教育課程と密接な関係を持つ図書館</li> <li>8. 図書館の種類を知る (5) 大学図書館：研究図書館、学術図書館、とも呼ばれる。</li> <li>9. 図書館の種類を知る (6) 専門図書館：ある専門分野のみの資料・情報を提供</li> <li>10. 公立図書館を巡る問題 (1) 戦後の歴史</li> <li>11. 公立図書館を巡る問題 (2) 文庫活動、住民運動</li> <li>12. 図書館を育てたひとびと：アメリカの場合</li> <li>13. 図書館関係団体：図書館協会、図書館関係学術団体</li> <li>14. 海外の図書館：アメリカ、イギリス、中国など</li> <li>15. まとめ</li> </ol>			